



【CONTENTS】

PEA COAT.....06
Pコート アーカイブ/イラストスペック解説/新作&定番カタログ/私ならばこう着る/銘品案内
定番コートをRUDEに着る.....36
TRENCH COAT.....44
トレンチコート アーカイブ/イラストスペック解説/新作&定番カタログ/私ならばこう着る/銘品案内
ヴィンテージコートの選び方は、この2大ブランドに学べ.....70
バーバリーVSアクアスキュータム
英国スタイルでセレクト コートによく合う【贈り物】を選ぶ.....73
オーダーコートのススメ.....79
DUFFLE COAT.....84
ダッフルコート アーカイブ/イラストスペック解説/新作&定番カタログ/私ならばこう着る/銘品案内
コートが輝くブラッシングの魅力.....110
オンリーワンのコートお直し術.....112
まだまだあります 主張のあるコート.....115
奥付.....128

【コートを着る本】

コートは誕生以来、冬の厳しさから身を守る基本的な手段であり、また冬の風景を完成させる不可欠な道具となるリアル・クロージングである。本誌ではPコート、トレンチコート、ダッフルコートという“定番”と呼ばれるコートを中心に、主張のあるコートたちを多数集めた。限られたフォーマットのうえで、機能とデザインを模索するメーカーのひと工夫も見どころだ。お気に入りの一着を見つけ、この冬を快適に、カッコよく過ごそう!



PEA Coat

金ボタンが都会つぼさを演出
スマートなシルエットの1着



「FIDELITY(フィデリティ) Pコート」。スマートなシルエットとミリタリーテイストの金ボタンが、大人っぽさを演出しているPコート。着脱しやすいライナー付きで、コーディネートができる幅も広い。価格3万1500円。◎アーバンリサーチ 渋谷店 ☎03-5468-6565

「BUZZ RICKSON'S(バズ・リックソンズ) Pコート」。1910年代のPコートをリアルに復刻。高密度の分厚いメルトンウールを採用。アメリカの国章を表す13スターを彫刻したアンカーボタンも忠実に再現。価格5万1450円。◎東洋エンタープライズ ☎03-3632-2321

素材やディテールにいたるまで
リアルな仕様が風格を漂わす



銘品案内

[SCHOTT]



本物の存在感をもつ Pコートの代名詞

Pコートといえはこの「シュott」が代名詞的存在。その理由は、Pコート本来の仕様を忠実に製品に落とし込んでいる点にある。同社は米国ニュージャージー州に本拠を置くカジュアルウェアメーカー。1913年、アービング・シュottにより創業。1928年に輩出されたモーターサイクル・ジャケットなどを筆頭に、メンズのアウトター系については古くから定評がある。Pコートについては、1960年代後半にミリタリー・モチーフ・ラインを製造するなかで派生し、1969年に日本に上陸。日本に登場した初期の米国産Pコートブランドとして一世を風靡した。そして今日まで、コンスタントにPコートを作り続けている。その継続性が、シュottの名をここまで浸透させたのである。

また同社はアメリカ軍に衣料品を納入するなどの実績をもち、この点もファン心理を下支えする要素のひとつだ。USネイビー仕様とは若干の違いがあるものの、全体を通してのデザインはまさに本物の存在感をはなっている。官給品と同じ再生ウールといふ生地を使っているが、これは羊毛織物の残り毛のこと。これを用い、目を詰めて保温性を高めている。この工程を安価に行なうには再生ウールが合理的で、いいモノを安くという精神もこのPコートがファンを魅了し続ける理由のひとつだ。

「SCHOTT(シュott) Pコート」。USネイビーと同様の存在感。価格3万450円。◎シュottイースト ☎03-5778-9656

定番コート
RUDE
に着的



RUDE

「サイベリック Pコート」、価格7万8750円。◎マスターピースショールーム ☎03-5468-3931。「マーカ ダウンベスト」、価格5万7600円。◎サージェント ☎03-3477-7121。「ハバノス デニムシャツ」、価格2万5200円。◎ジェットン ☎03-5457-0566。「wik クラッシュデニムパンツ」、価格5万7750円。◎wiktokyo ☎03-3401-6390。「AKM ヘルム」、価格11万5500円。「同 ブーツ」、価格9万9750円。以上◎AKM表参道 ☎03-6440-0019

定番コートを

RUDE

Styling/Yuya Murata (SMB International), Model/Yusuke Ueda (AKM), Text/Editorial Staff (WPP), Photo/Masakuni Miyasaka (WPP)

に着的

本誌でご紹介した定番コート(P、トレンチ、ダッフル)は定番といわれるだけに、着方が定まっている印象をおもちではなからうか。ここではそんなありきたりの着方ではない“RUDE”な着方を試してみた。定番のきちんとした(“NEAT”)スタイルも併載。定番コートの着方の幅を広げてみよう!

RUDE:[意味]

無作法な、粗野な、乱暴な、激しい、自然のままの、耳ざわりな、未開の、強壯な

「バーバリー Pコート」。トレンチで鳴るブランドのスタイリッシュなPコート。価格6万1950円。◎バーバリー-C.R室 ☎0120-340-654



NEAT



「wik Pコート」。ボタンがいいアクセントになっており、着丈はやや長め。価格6万1950円。◎wiktokyo ☎03-3401-6390



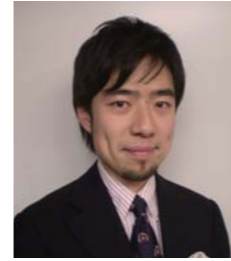
「ハバノス Pコート」。しっくりとしたフィット感で細身のスタイリングが可能。着丈短め。価格5万6700円。◎ジェットン ☎03-5457-0566

PEA COAT

「サイベリック Pコート」、価格7万8750円。◎マスターピースショールーム ☎03-5468-3931。「ミスターベイスンエイブ® バイ ユナイテッドアローズ ベスト」、価格1万5750円。「同 シャツ」、価格1万9950円。「同 ネクタイ」、価格1万3650円。「同 パンツ(3ピーススーツ)」、価格8万8200円。「同 シューズ」、価格4万9500円。以上◎ユナイテッドアローズ原宿本店メンズ館 ☎03-3479-8180。「イニッシュム 眼鏡」、価格1万6800円。◎ロデオドライブ ☎03-5775-7343

もともと出自はミリタリー。海軍の冬季ユニフォームとして広く知られたコートだけに、軍律に基づく乱れない着方を連想させる。しかし、このコート自体カジュアルな着こなしを包み込む度量があるし、近年は薄手、ソフトな素材でアームを細くしたものも増えてきた。そこでここではPコートをシャツジャケットのようにあしらひ、上からベストを着用した。“カッコよく”に意識を集中して、ボトムにはクラッシュデニムをあわせてみた。

私ならばこう着る ①



バーニーズ ニューヨーク
矢野考太郎さん

「個人的にも憧れの英国老舗ブランド、グレンフェルのトレンチコート「ケンジントン」を、バーニーズらしく都会的にアップデートさせてコーディネートを組みました。コートの裏地とマフラーを同素材で揃えて遊び心を効かせ、大人の余裕を含ませています。オン・オフを問わず活躍するトレンチスタイルです」。

伝統をシテイライクに纏った
クラシック&モダンスタイル



アウター／GRENFELL「ケンジントン」。トラディショナルなスタイルをモダンに昇華させた、シンプルで洗練されたシルエットのトレンチコートがラインナップ。価格12万6000円。ニット／5+1 ANNAPURUNA「ニットカーディガン」。価格5万2500円。シャツ／BLACK&BLUE。価格1万9740円。マフラー／BEGG。価格1万2600円。ブーツ／BARNEYS NEW YORK。価格2万1000円。バッグ／STEFANOMANO「ショルダーバッグ」。価格4万8300円。©バーニーズ ニューヨーク新宿店 ☎03-3352-1200

Editor & Publisher**今井今朝春***Kesaharu Imai***Designer****鈴木 学** (モノ・マガジン商品研究所)*Manabu Suzuki(Mono Mag.Lab.)***Editor****竹本 泉***Izumi Takemoto***藪崎 大***Dai Yabuzaki***浦山真由美***Mayumi Urayama***Illustrator****一戸 淳***Jun Ichinohe***Photographer****青木健格***Takenori Aoki(WPP)***宮坂政邦***Masakuni Miyasaka(WPP)***Advertising Staff****鈴木敏弥***Toshiya Suzuki***上田秀一***Shuichi Kanda***千葉祐司***Yushi Chiba***高林 純***Jun Takabayashi***篠崎美穂***Miho Shinozaki***Production Director****小川俊介***Shunsuke Ogawa***Circulation Manager****笹川裕史***Hiroshi Sasagawa***Print****Dai Nippon Printing Co., Ltd.****DTP****Base****Correspondents, Washington, D. C. Bureau****(Pictorial Press International)****Norman T. Hatch****Mikako Burks**

ワールドフォトプレス ホームページ

<http://www.monomagazine.com>

モノ・マガジン・ウェブ (mo.WEB)

<http://www.monomagazine.com/moweb/>

モノ・マガジン・ブログ

<http://blog.goo.ne.jp/monomagazine/>WORLD **M**OOK

ワールド・ムック807

平成23年1月5日発行(通巻807号)

mono 特別編集

ピーコート・トレンチコート・ダッフルコート

基本のコートに贈る

コートを着る本

編集・発行人●今井今朝春

発行所●株式会社ワールドフォトプレス

〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2

TEL: 03 (5385) 8111 [編集部]

03 (5385) 5658 [広告営業部]

03 (5385) 5701 [販売部]

FAX: 03 (5385) 5614 [編集部]

03 (5385) 5614 [広告営業部]

03 (5385) 5703 [販売部]

印刷所●大日本印刷株式会社

© WORLD PHOTO PRESS 2011

造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁など

の不良品がございましたら販売部あてにお送りください。

送料弊社負担にてお取り換えいたします。本誌掲載記

事の無断複製転写を禁じます。

弊社出版物のお申し込みはインターネットをご利用いただけます。

●文中の価格はすべて消費税込みの総額表示です。